

平成29年度（独）国際観光振興機構調達等合理化計画の概要

- 公正性・透明性を確保しつつ、自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組む。
- 計画策定、実施、評価及び次計画への反映というPDCAサイクルにより推進。
- 理事を総括責任者とする調達等合理化検討会を設置。
- 計画策定及び自己評価に当たっては、契約監視委員会の点検を受けた上で、主務大臣へ報告。

I. 調達の現状（平成28年度）

● 調達実績

→ 214件、6,752百万円

- ◇「競争性のある契約」
169件、5,965百万円
- ◇「競争性のない契約」
45件、787百万円

● 一者応札・応募の状況

→ 43件、1,298百万円

- ◇「一者応札」
16件、420百万円
- ◇「一者応募」
27件、878百万円

● 障害者就労施設からの調達

→ 12件、112万円

- ◇調達の推進方針に基づき調達

II. 改善に向けた主な取組

● 重点的に取り組む分野

- ①訪日プロモーション事業の企画競争実施に当たっての要件審査の充実及び迅速化並びに計画的な事業実施
→事業の増加等に対応するため、引き続き企画競争の要件審査の充実・迅速化を図ることとし、要件審査チェックリストの作成・見直しを行い、要件審査体制の充実及び迅速化を図り、一層計画的な事業の実施を図る。
- ②訪日プロモーション事業における総合評価落札方式の適切な運用・実施
→主に企画競争により行っている訪日プロモーション事業の調達について、一層の競争性の向上を図るため、事務コスト等を考慮しつつ総合評価落札方式の導入を検討し適切に実施。
- ③企画競争の一者応募の見直し
→引き続き、当機構の取組により改善できる余地がないか検討するため、企画競争説明書を受け取りながら参加しなかった事業者に対してアンケート調査を行い、要因を分析して対応策を検討する。

● ガバナンスの徹底

- ①競争性のない随意契約等を新たに締結した場合、監査室の点検を実施。
- ②訪日プロモーション事業等の調達業務に対応するため、本部や新設海外事務所の職員向け研修等を実施。